

ますは

「願いを顧みてください」

「わが神、主よ、あなたの僕の祈りとその願いを顧みてください。あなたの僕が御前に献げる嘆きと祈りを聞き入れてください。」

(歴代誌下 第6章19節・旧約聖書664頁)

はじめに

私たち人間は「私は生きている」と言われる方と御言葉、そして礼拝によって結びつくことによって「生きる」ことができます。その関係が損なわれている時代だからこそ、息苦しくなるのです。礼拝をおろそかにしてはならないと説いた歴代誌から、先回は神への感謝を献げることを忘れてはいないかと問いかけられました。今回はソロモン王の祈りから、礼拝は私たちが神からの憐れみを受ける時でもあることを確認したいと思います。

神殿とは

ダビデは、神から神殿を建てる許可が与えられませんでした。理由は「多くの血を流した」からだとされています(歴代上 22:8)。しかし、戦いは神の御心に適うものばかりだったので、この言葉の意味は、「神の王国を平定し、基礎を固めるための役割を一生懸命担った」とのねぎらいの言葉であったと思います。すなわち、神を礼拝する神の民たちの姿勢がなければ、神殿は必要ないのです。イギリスには何百人も入る礼拝堂を持つ教会がありますが、観光ではなく、礼拝のために来会する信徒はほとんどいないのだそうです。教会堂があればいいのではなく、そこにキリストの恵みが満ちていなければ教会となり得ません(エフェソ 1:23)。

ソロモンの祈り

ソロモンは、神が与えられていたダビデの使命を理解していました。そして、自分がになわされた神殿がどのような場所になるのかをも理

解していた、ですから、「僕の祈りとその願いを顧みてください」との祈りを献げているのです。私たちが礼拝に集う時、神と交わる時に顕わにしても良い態度であることがわかります。祈りの内容

私たちが選ばれていること、日々に恵みが与えられ、祝福が約束されていることに感謝を献げるだけでなく、その神との関係があればこそ、私たちにある、整理できない事柄、願いを顧みてくださいと祈ることができるのです。

詩編を見てもわかるように、ダビデをはじめ神に祈ってきた者たちの言葉は、苦悩に満ち、呻き、悩み、そしてある時には神が何もしてくれないように訴えている内容も見られます。しかし、これはすべて神の前で語られている祈りの言葉であることを忘れてはなりません。つまり、神に対する揺るがない信頼があるからこそ、神に何でも申し上げることができるのではないのでしょうか。パウロは「何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超えた神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスにあって守るでしょう。」(フィリピ 4:6~7)と教えます。私たちは、ソロモンのように、自分の心にある思いをことごとくぶつけさせてくださいと、神に祈り、憐れみをいただくべきです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「わが神、主よ、あなたの僕の祈りとその願いを顧みてください。あなたの僕が御前に献げる嘆きと祈りを聞き入れてください。昼も夜も、この神殿に目を向けていてください。ここは、あなたが、そこにご自分の名を置くと仰せになった所です。あなたの僕がこの所に向かって献げる祈りを聞き入れてください。」(歴代誌下 6:19～20)

「あなたがたの寛容な心をすべての人に知らせなさい。主は近いのです。何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めている



るものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超えた神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスにあって守りましょう。」(フィリピの信徒への手紙 4:5～7)

私の思いはいつも思い乱れています。神に何でも申し上げることができる関係だからこそ、何でも思い煩っていること語ることができるのだと教えてくださってありがとうございます。私はあなたを信頼しています。だから、私の願いをすべて語ります。どうぞ顧みてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (95) 第4章25節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「目は正面を見据え まなざしを前にまっすぐ向けよ。」

◎口語訳 「あなたの目は、まっすぐに正面を見、あなたのまぶたはあなたの前を、まっすぐに見よ。」

◎新改訳 「あなたの目は前方を見つめ、あなたのまぶたはあなたの前をまっすぐに見よ。」

「正面」

相手の目を見ないで会話をする人に対し、あまり良い印象は持ちません。話している話題に対し、不満があるのかもとか、自分を受け入れていないのではないかと、乗り気ではないなど考えるわけですが、それは、自分が相手側であったら、そうするかもしれないと思うからです。

ただ、誰でもそうだと思いますが、重要な場面では、斜に構えるようなことはしませんし、相手の顔を見て話さなければ、良い方向に進まないことは分かっています。ですから、しっかりと正面を見、相手の言っていることに耳を傾けるわけで、自分もまた真剣さを伝えるために、同様の姿勢を取るわけです。

この「正面を見据え」と訳されている語を調べると、興味深い場面で使われていることを発見しました。ヤコブが自分の取り分が良い山羊になるように操作するのですが、「(山羊の)群れ

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

が水を飲みにやって来るとき、皮を剥いだ枝が群れの差し向かいになるように」置きました(創世記 30:38)。この「差し向かい」が「正面を見据え」です。他の箇所でも、供え物を乗せる机を契約の箱に向かって置くなど、他者が入ってこない、第三者にじゃまされないような状況があって、この「正面を見据え」が成立することがわかります。まなざしを「前に」の「前」は正しい方向、つまり、神を意味していますので、私たちが神と一対一、差し向かいで生きるべきであることを教えていることがわかります。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

エステル記第7章10節「こうしてハマンは、自分がモルデカイをつるそうと用意した柱につるされ、王の燃えるような怒りは収まった。」◆王はハマンに聞いた。「王が栄誉を与える時にはどうしたらいいだろう」。ハマンは王がごほうびをくださるのは自分しかないと高ぶり思い、自分が憧れを実現すべく、詳細を王に伝えた。そこからハマンは一気に奈落の底に落ちるような時間を過ごすことになる。神の布石はここそこで利っており、ハマンは逃れようもなく、敗北の道をたどる。人の知恵と神の知恵のあきらかな「実力」の差がわかる。

●賛美 / 26 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

エステル記第8章17節「その地の民のうち多くの者がユダヤ人となった。ユダヤ人に対する恐れに襲われたからである。」◆ユダヤ人が殲滅される寸前、今度はユダヤ人以外の者が弾圧されることとなる。信じられないような大逆転が起きる。この時、「ユダヤ人となった」人がいた。血統が証明できなければユダヤ人として認められないから、もしかすると、ユダヤ人であることを隠していた人が出自を明らかにした可能性もある。だが、神の勝利は、すべての者たちに神が神であることを教えた。この地でも、神が崇められますように。

●賛美 / 27 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

エステル記第9章28節「このプリムの日ユダヤ人の中から失われてはならず、またその記念は彼らの子孫から絶たれてはならない。」◆ユダヤ民族(神の民)が滅亡の危機から逃れたことは神しかできないことだった。だが、それは一回きりで終わるものではない。神の奇跡は今を生きる神の民である私たちにもたらされる。そのために記念をし続けるのだ。私たちはクリスマス、イースター、ペンテコステを重要な記念日として祝う。それ以外に自分の信仰をもった日や受洗日を覚え、神が自分になしてくださったみわざを顧みる時を持ちたい。

●賛美 / 31 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

エステル記第10章3節「ユダヤ人モルデカイはクセルクセス王に次ぐ地位に就き、ユダヤ人にとって偉大な者となり、多くの兄弟たちに愛された。」◆ハマンへの敬礼を拒んだことで、ユダヤ人抹殺命令が発布されたのだが、おそらく、ユダヤ人たちの中でも「よけいなことをしてくれた。黙って敬礼すればよいものを」と憤りを感じた者たちも多数いたはずだ。その中で神の偉大な奇跡を信じていた者はどれだけいたろうか。私たちは信じ得なくても信じたい。そして勇ましく証をすることで、多くの者たちに励ましを与える者でありたい。

●賛美／32 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ヨブ記第1章1節「ウツの地にヨブという名の人があった。この人は完全で、正しく、神を畏れ、悪を遠ざけていた。」◆ヨブ記の主題は「なぜ神を信じている者に災いがもたらされるのか」だ。答えを申し上げる前に、あなた自身に問うてほしい。あなたは何が幸せで、何が不幸だと思うか。この書は、自分の都合の良いようになっていくことが幸せではないと教えている。このメッセージを受け取るためには、神を恐れ、神の前に正しく歩んでいるかどうか、その姿勢にかかっている。だから、ヨブは選ばれたのである。

●賛美／33 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ヨブ記第2章10節「このような時でも、ヨブはその唇によって罪を犯さなかった。」◆ヨブは財産も家族の命も奪われた時、苦悶した。しかし、彼は長い沈黙の中、神との交わりをへて、「主は与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな」と口にしました。自分のからだ中に腫れ物が出て我慢できない激しいかゆみにおそわれた時も、妻から「神を呪え」と言われた時も、ただ、神にのみ口を開くだけだった。人からの慰めを得ようとする人は、だれかれとなく人に話しかける。だが、神にこそ慰めがあるのだ。神に話しかけるべきではないか。

●賛美／34 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ヨブ記第3章1節「この後、ヨブは口を開いて、自分の生まれた日を呪った。」◆ヨブは一人になりたかった。そして神の前に立ち、神に慰めてもらう時間がほしかった。ところが一人になれなかったのだ。友人たちにはありがたいと感じたかも知れない。しかし、自分の言葉で慰められると思いがっていた友人がそれをじゃまする。同じ苦しみを味わってもいない者が、なぜその人を理解し、慰めることができるだろう。ヨブは、神ではなく、人を意識し始めたことで、彼らに「気に入られる言葉」を安易に口にしてしまったのだ。ここからヨブの本当の苦しみが始まる。

●賛美／35 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【マルコによるふくいんしょ 10:46～52】

「バルティマイ」

(マルコ 10:52)

イエスさまは でしたちと いろいろなまちに でかけました。かみさまの すばらしさをつたえ、かみさまのくににはいる ことのたいせつさをつたえたかったからです。

イエスさまが きたのほうにある まち、エリコに でしたちと いっしょに きたときのことです。エリコを あるきながら、ついてくる おおぜいのひとたちにはなしをしながら まちのはずれまでやってきたときのことです。「ダビデのこイエスよ あわれんでください」。おおごえで さげんでいるこえをききました。

イエスさまは あるくのをやめ、こえのきこえるほうを みました。すると、みんなに だまるように しかられている めのふじゆうなひとが そこに いました。いつも その みちばたに すわり、みんなに まいにちひつような たべものなどを もらっていたひとでした。「おま

え みたい な やつが きよい イエスさまに ちかづくことなど できるものか」。まちの ひとびとが だまらせようとしています。そのひと、バルティマイは さげぶのを やめません。

イエスさまは バルティマイを よんでくるように いわれました。みんなにつれてこられたバルティマイは うれしくなって、おどりががるほどでした。

イエスさまは バルティマイにいいました。「なにを してほしいのか」。バルティマイはいいました。「また みえるようになることです」。そうです。バルティマイは さいしょは みることができたのに いつのころからか めが みえなくなってしまうていたのです。ですから、みんなは かみさまに つみを おかしていたからだ きめつけられてしまっていたのでした。

イエスさまは いいました。「あなたの しんこうが あなたを すくった」。バルティマイは はっきりとめが みえるようになりまし。かみのくにのすくいは もとめるひとに あたえられるのです。

●かんがえてみよう

☆イエスさまに むかって、「あわれんでください」とさげびつづけたひとは どのようなひとでしたか。(マルコ 10:46)

☆イエスさまは たちどまって、ちかくの ひとに なんといいましたか。(マルコ 10:49)

☆イエスさまが なんといわれると、目が みえるようになりまし。か。(マルコ 10:52)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

いえずはたちごまる

は	え			ち				
	ど			た	え			す
い			ま			る		た
る							た	
		ま	ち	ど	た	え	る	
						い	ど	ま
ど	す	ち		え	は	ま		る
だ	る		ど		ま		は	え
え		は	る	い		た	す	ど

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① あおるがどり
- ② うぐしゆん
- ③ すぬぎるて
- ④ たみばち

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「花ざかり」

徐々にですが、寒さが緩んできたように思います。同時に、固く閉ざしていた花のつぼみかほころんできました。自然は正直です。人間が手を加えようとすれば調和が崩れ、大変なしっぺ返しを食らいますが、神が与えてくださった自然の営みを、自分への恵みであると受け止めて生活していくなら、私たちは生かされ、またその恩恵を被ることができるのです。

ご存じのように私の生まれ故郷は南伊豆ですが、

いつからか「河津桜」が脚光を浴び始め、最近では日本人だけでなく、多くの外国人が本場である河津に詰めかけるようになりました。この河津桜を観光の目玉に、南伊豆町でも「みなみの桜と菜の花まつり」というイベントを行っています。青野川沿いの河津桜も見事しているのではなく、今の時期、春を探しに外に出るのもいいのではないのでしょうか。

聖書ふれあい街歩き

●エツヨン・ゲベル

ヨシャファトはどういうわけか、あの北イスラエル王国の悪王アハブと仲が良く、自分が利用されているような状況にあっても、彼に対して嫌悪感を持つことがなかったようです。そのため、アハブの子アハズヤとも友好的関係を持ち続けていきました。南北が同盟していた時代に造られた港がエツヨン・ゲベルです。

エツヨン・ゲベルは、V字になっている紅海北部のアカバ湾と呼ばれる東側の最北端にありました。港が造りにくいパレスチナ地方にとって、重要な東側への貿易航路になります。現在のイスラエルもエツヨン・ゲベルではないかとされるエイラトという町があり、重要な港なので国家として死守すべき場所にもなっています。例えば地中海側だけであつたならば、アフリカ大陸を何日もかけて、危険を冒してインド方面へと行かなければなりません。エツヨン・ゲベルがあることで、地中海とは違う、さまざまな産物が手に入ります。ですから、ソロモンは、ここに港を整備したのです。

この町には造船所もあったようですが、ヨシャファト時代に造った船は「アハズヤと同盟を結んだ」ことで、すべて難破してしまいました(歴代誌下 20:36、37)。

ななめ聖書 先週のこたえ

む	て	た	に	つ	を	ら	ん	か
か	ら	つ	む	た	ん	に	を	て
ん	を	に	て	ら	か	た	つ	む
に	ん	む	か	て	ら	を	た	つ
た	か	ら	つ	を	む	ん	て	に
て	つ	を	ん	に	た	か	む	ら
つ	む	か	を	ん	に	て	ら	た
ら	に	ん	た	む	て	つ	か	を
を	た	て	ら	か	つ	む	に	ん

- ①ぎしょうする
- ②しょうねん
- ③いましめ
- ④ざいさん



捕らえられたパウロ

七日の期間が終わろうとしていたとき、アジア州から来たユダヤ人たちが神殿の境内でパウロを見つけ、全群衆を扇動して彼を捕らえ、こう叫んだ。「イスラエルの人たち、手を貸してくれ。この男は、民と律法とこの場所に背くことを、至るところで誰にでも教えている。その上、ギリシア人を境内に連れ込んで、この聖なる場所を汚してしまった。」

彼らは、エフェソ出身のトロフィモが前に都でパウロと一緒にいたのを見かけたので、パウロが彼を境内に連れ込んだのだと思ったのである。

それで、都全体は大騒ぎになり、民衆は駆け寄って来て、パウロを捕らえ、境内から引きずり出した。そして、門はどれもすぐに閉ざされた。」(使徒言行録21:27~30)



誓願終了時の剃髪

【七日の期間】

結果的に、ヤコブの解決策であるナジル人の誓願をしていたと思われる四人と同行することで、律法を否定しているわけではないのだとのアピールは功を奏しませんでした。

この誓願について、もう少し付け加えておきます。この四人が何か特別な願いがあったのか、また自らの信仰心を高めるためであったのかは定かではありませんでしたが、ユダヤ人たちが「ナジル人の誓願」を立てるのは、さほど珍しくはありませんでした。神への献身を表す行為で、その誓願の間はぶどうに関するものの飲食を避け、髪の毛にかみそりを入れず、死体に近づいてはならないことになっていました。もしそれらに反してしまった場合には、再度きよめの儀式をし、最初からやり直さなければなりません(民数記6章)。サムソンは、神からの仰せで、生涯にわたって「かみそりを当ててはならない」(士師13:5)とされ、生まれながらのナジル人だったのですが、みなそうではなく、最低でも30日間はしなければならぬとされていたようですが、請願者自らがその期間を定めることができました。

ですから、「七日の期間が終わろうとしていたとき」は、ナジル人の誓願の期間が終わる時ではありません。さまざまな儀式の記述から判断し、始める際には「七日間」の準備期間があったと思われる、同様に、誓願を終える時にも「七日間」を要したと考えられます。民数記に失敗してしまった時、最初から始める前に七日間を過ごしていることから(民数記6:9)、そのように判断できます。祭司は神との仲介役ですから、「きよめ」についても、当時は祭司に認可をしてもらう必要が

あったわけです。マタイの福音書に、主イエスが、規定の病を患った人を清めた話がでてきます。主は「誰にも話さないように気をつけなさい。ただ、行って祭司に体を見せ、モーセが定めた供え物を献げて、人々に証明しなさい」(8:1、マルコ1:40、ルカ5:12)とおっしゃっています。レビ記14章に定められている「清めの認可」の順序だったからです。

ですから、この四人の場合も、誓願した時に祭司に始めますよと宣誓するための七日間があり、そして、ここでは誓願が完了しましたと伝え、証明してもらうため、祭司がいる神殿に赴き、供え物を献げ、そして髪を剃るという七日間を過ごさなければならぬかなのでしょうか。

その最終段階である七日目に事件が起こったのでした。

使徒18:18にあるケンクレアイでの剃髪時には「誓願を立てていた」パウロですが、ご説明したようにナジル人の誓願は最低でも1カ月以上かかるわけです。パウロは誓願を立てていたわけではなく、費用を支払うという介添人として四人に付き添う必要があったわけで、さらにヤコブの意図した、律法を拒絶しているわけではないのだと表明するためにも、神殿に行かなければなりませんでした。その時にやっかいなユダヤ人に見つかってしまったわけです。

「ユダヤ人には、ユダヤ人のようになりませんでした。ユダヤ人を得るためです。…ともかく、何人かでも救うためです。福音のために、私はすべてのことをしています。」(コリント一9:20)とのパウロの姿勢は、悪意を持っている彼らには通じなかったのです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活をもたらず祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

